



HAPPINESS CREATOR
NITOBEBUNKA

NEWS RELEASE

学校法人 新渡戸文化学園



『Asia Pacific Computer Education Conference 2024』の一環として、11月21日新渡戸文化中学校・高等学校に海外視察団32名が来訪しました。

教育省をはじめ、組織のCEOの方など、情報教育の最前線で活躍されているアジア各国の32名の方にお越しいただきました。今回の視察は、NPO法人みんなのコード主催のAsia Pacific Computer Education Conference 2024の一環で実施され、本校が力を入れてこれまで取り組んできた、情報教育やクリエイティブ環境にご関心をお寄せいただき、実現いたしました。当日は、情報 I の授業および、VIVISTOP NITOBEBUNKA のクリエイティブ環境についてご覧いただきました。



クロスカリキュラムに驚きました。アメリカのほとんどの州の学校ではカリキュラムに従うことが優先され、科目を飛び越えて授業を行うことはほぼありません。また、VIVISTOPの学年を超えた交流であったり、地域の人や保護者にも開かれた施設であることはとても素晴らしいと思います。

先生が授業中に生徒の間を歩き回って、生徒がグループに分かれて自由に話し合いをしながら授業が進行していくことに驚きました。生徒一人ひとりが責任と自由度を持って課題に取り組んでいる様子が見られました。



コンピューターサイエンスのクラスはインドネシアにもありますが、例えばホームページを作る授業では手順に従って先生が説明して全員が一緒に作業します。先生はなぜこの手順なのか、なぜこれが必要なのかを説明することはなく、生徒が理解しているかをフォローすることはありません。

また、インドネシアでは授業は先生の指示に従う部分が大抵で、生徒は自分のやりたいことをやるのではなく、先生が望んでいることを授業内で行うことが通常なので、新渡戸のとても革新的で生徒に対する自由度の大きい授業に驚きました。生徒全員にデバイスを与えている恵まれた環境があるのは素晴らしいです。

写真左：アメリカからご来校の
Code.org、国際連携担当・執行役員
Mr. Forest Key (フォレスト キー氏)

写真右：インドネシアからご来校の
Coding Bee Academy, CEO
Ms. Catherine Fransisca Alimasyah
(キャサリン フランシスカ アリムシア氏)

視察に来られた方々からの反応

情報 I の授業では、学習者がそれぞれのテーマに基づいたアンケート調査・分析・レポート作成に取り組む授業の様子を見ていただきました。参加者からは、綿密に練られた授業デザインや、学習者の主体性を引き出すための仕掛けについて高い評価をいただきました。

また、VIVISTOP NITOBEBUNKAでは、授業での利用だけでなく、放課後や課外活動でも利用できることに関して、生徒が好きな時に好きなだけ、作業に没頭できる空間を学校として用意している部分に対して高い評価をいただきました。

本件に関するお問い合わせは、こちらのメールにて受け付けております。

【お問い合わせ先】学校法人 新渡戸文化学園 広報室 担当：鈴木、中ノ瀬

●TEL：03-3381-0196 ●mail：a_kouhou@nitobebunka.ac.jp



HAPPINESS CREATOR
NITOBEBUNKA

学校法人 新渡戸文化学園



所在地：〒164-8638 東京都中野区本町6-38-1 ●TEL：03-3381-0196
広報室 ●mail：a_kouhou@nitobebunka.ac.jp ●HP：<https://nitobebunka.ac.jp>